



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4611		
科目名	危機管理特殊研究 1		
担当教員	宮川 正		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 2		
講義室	1211	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1－E 〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3－G 〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4－F 〔探求力・課題解決力〕 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP6－K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7－L 〔協働力・牽引力〕 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8－M 〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 E1 学識と専門技能（15%） F1 探求と論拠（20%） F2 課題解決（10%） G1 状況把握（10%） K1 ライティング・コミュニケーション（10%） K2 オーラル・コミュニケーション（10%） L1 チームワーク（15%） M1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	本校卒業後、航空自衛隊に入隊、以来40年余り国の安全保障にかかわる業務に従事しました。当初は戦闘機パイロットとして日本の空を守る対領空侵犯措置任務などの勤務に就き、その後は指揮官職（基地司令、方面隊司令官）などの勤務を経験しました。その間、米国留学や防衛駐在官勤務（米国）を経験するとともに、実任務としてはイラク復興支援任務に従事し、自衛隊の海外任務の先駆けとなりました。本研究では実務経験の実例を示しながら、どのように危機に対処したらよいかを演習を通じ研究します。（第1～15回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成にもつながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当		

	する実務教員が、危機管理に関連するテーマを設定し、図上演習方式により学生自らが参加する演習形態とします。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、実践的危機管理能力を身に付けることを目標とします。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：実践的危機管理能力、図上演習								
授業の趣旨	■副題 自らが危機に対処する ■授業の目的 様々な危機に適切に対応するためには、常日頃からの備え（情報の収集・分析、対応計画の立案・調整、訓練、評価）が必要です。なかでも訓練については、個人では実施しにくく、成果も得られにくい状況です。当研究では、災害・事故等様々な危機を想定し、実際に訓練（図上演習）することにより、危機対応能力を習得することを目的とします。 ■授業のポイント テーマを選定し、イメージトレーニング型図上演習を行います。前半はゲームなどを活用した非討議型演習を、後半はグループワークを含む討議型図上演習を行います。								
総合到達目標	■危機対応に関する訓練を行うにあたり、役割に応じた対応をすることができる。（第2～6回） ■グループでの議論を通じて1つのテーマを協働して研究に取り組み、発表などの場を通じて成果物として完成させることができる。（第7～14回）								
成績評価方法	■授業参加度（50%）：適用ルーブリック（E1、F1、F2、G1） （評価の観点）演習テーマについてあらかじめ情報を収集・分析し、演習で議論するための材料を提供することができているかについて評価します。 （フィードバックの方法）授業中に適宜指導します。 ■グループ討議への貢献（50%）：適用ルーブリック（K1、K2、L1、M1） （評価の観点）グループ討議に積極的に参加し、率先して協働しているかを評価します。 （フィードバックの方法）授業中に適宜指導します。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	2年次は図上演習を中心とするため、研究に積極的に参加し、休まないこと。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ トータルガイダンス ②授業概要 ゼミナールⅠ～Ⅴを通した2年半の学び、研究の流れについて説明するとともに、受講する研究生がゼミナールⅠ～Ⅴの履修期間中に、自らが研究してみたい、取り組んでみたいテーマを見つけ出すことを目標とした演習の位置付けについて説明します。（E1、F1） ③予習（120分） これまでの授業を通じて関心を持っているテーマについて、発表できるようにしておく。 ④復習（120分） ガイダンスの内容を踏まえて整理しておくこと。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）① ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K2、E1、F1、F2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）② ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K2、E1、F1、F2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ トータルガイダンス ②授業概要 ゼミナールⅠ～Ⅴを通した2年半の学び、研究の流れについて説明するとともに、受講する研究生がゼミナールⅠ～Ⅴの履修期間中に、自らが研究してみたい、取り組んでみたいテーマを見つけ出すことを目標とした演習の位置付けについて説明します。（E1、F1） ③予習（120分） これまでの授業を通じて関心を持っているテーマについて、発表できるようにしておく。 ④復習（120分） ガイダンスの内容を踏まえて整理しておくこと。	2	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）① ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K2、E1、F1、F2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。	3	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）② ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K2、E1、F1、F2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
回	内容								
1	①授業テーマ トータルガイダンス ②授業概要 ゼミナールⅠ～Ⅴを通した2年半の学び、研究の流れについて説明するとともに、受講する研究生がゼミナールⅠ～Ⅴの履修期間中に、自らが研究してみたい、取り組んでみたいテーマを見つけ出すことを目標とした演習の位置付けについて説明します。（E1、F1） ③予習（120分） これまでの授業を通じて関心を持っているテーマについて、発表できるようにしておく。 ④復習（120分） ガイダンスの内容を踏まえて整理しておくこと。								
2	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）① ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K2、E1、F1、F2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。								
3	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）② ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K2、E1、F1、F2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。								

4	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）③ ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
5	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）④ ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
6	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（非討議型）⑤ ②授業概要 非討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、質問形式を多用します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
7	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（討議型）① ②授業概要 討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、討議形式で実施します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
8	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（討議型）② ②授業概要 討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、討議形式で実施します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
9	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（討議型）③ ②授業概要 討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、討議形式で実施します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
10	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（討議型）④ ②授業概要 討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、討議形式で実施します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。

	④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
11	①授業テーマ イメージトレーニング型図上演習（討議型）⑤ ②授業概要 討議型により図上演習を実施します。テーマによって複数回に分けて行うとともに、討議形式で実施します。これに対し役割に応じた対応をすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） テーマについて事前に情報の収集・分析をしておくこと。 ④復習（120分） 他の研究生の発言内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながらまとめておく。
12	①授業テーマ グループ研究発表の準備① ②授業概要 研究生は現時点で研究しようと考えているテーマについて、テーマの内容と、関心の所在についてプレゼンテーションする。発表については全員で内容について意見を出し合い協働することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、研究生が取り組むべきテーマが見つけられるように幅広く指導します。（E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1） ③予習（120分） 自分の研究テーマについてプレゼンテーションできるように準備しておく。 ④復習（120分） 他の研究生のプレゼンテーション及びディスカッションも含め、議論を自分の研究内容に反映する。
13	①授業テーマ グループ研究発表の準備② ②授業概要 研究生は現時点で研究しようと考えているテーマについて、テーマの内容と、関心の所在についてプレゼンテーションする。発表については全員で内容について意見を出し合い協働することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、研究生が取り組むべきテーマが見つけられるように幅広く指導します。（E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1） ③予習（120分） 自分の研究テーマについてプレゼンテーションできるように準備しておく。 ④復習（120分） 他の研究生のプレゼンテーション及びディスカッションも含め、議論を自分の研究内容に反映する。
14	①授業テーマ グループ研究発表の準備③ ②授業概要 研究生は現時点で研究しようと考えているテーマについて、テーマの内容と、関心の所在についてプレゼンテーションする。発表については全員で内容について意見を出し合い協働することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、研究生が取り組むべきテーマが見つけられるように幅広く指導します。（E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1） ③予習（120分） 自分の研究テーマについてプレゼンテーションできるように準備しておく。 ④復習（120分） 他の研究生のプレゼンテーション及びディスカッションも含め、議論を自分の研究内容に反映する。
15	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 14回の授業で議論したことを総括し、各研究生は達成点と反省点を振り返り、自らの課題について発表する。担当教員の実務経験を踏まえて、研究生の研究テーマについてアドバイスをを行います。（K 1、K 2、E 1、F 1、F 2、G 1、L 1、M 1） ③予習（120分） 自分の研究について達成点と反省点を総括しながら発表できるように準備する。 ④復習（120分） 授業内容を振り返り、自分の研究テーマを再検討しながら夏合宿に備える。
関連科目	「自主創造の基礎 1・2（RMGT1215・1RMGT216）」・「危機管理基礎演習Ⅰ・Ⅱ（RMGT2601・RMGT2602）」・「ゼミナールⅡ～Ⅳ（RMGT4602・RMGT4603・RMGT4604）」
教科書	特にありません。

参考書・参考URL	研究生には適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。その他の時間はメール等で適宜連絡に応じます。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%：パブリックセキュリティ25%：グローバルセキュリティ25%：情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%：法学20%

